

第38回環境審議会での委員の発言要旨及び県の考え方・対応等

番号	発言要旨	県の考え方・対応等
【事前質問】		
1	「計画策定の趣旨」にある基本理念が「平成7年」のものであることが気になった。20年以上も前のものをそのまま活かすことが適切なのか、疑問に感じた。	基本理念自体については、普遍的なものだと考えており、現在のものを活かしてまいりたい。
2	「低炭素」という表現について。「脱炭素」が適切ではないか。また「脱炭素」が難しいのなら「脱炭素化に向けて」と方向性を示すべきではないか。	国内外で「気候非常事態宣言」や「CO ₂ 排出実質ゼロ宣言」をする自治体も増えており、国も「脱炭素」ということで動いている。 次期計画では、そういう点についても十分検討し、盛り込んでいければと考えている。
3	国の環境白書では脱炭素型の持続可能な地域づくりとして地域循環共生圏の創造を位置付けているが、香川県の計画ではどこに位置づけるのか。	地域循環共生圏については地方でどう取組ができるのか、なかなか難しい部分もある。しかし今後の経済・社会・環境というところを考えると、非常に重要な概念であると考えており、先進的に取り組む自治体の状況も確認しながら、どういう形で盛り込めるのかということも含めて検討したい。
4	SDGsについて、計画の中に内容を盛り込むとともに、関連についても計画の中で可視化すべきではないか。	現行計画の中でもSDGsの理念に沿った取り組みを行っているが、計画の中では「SDGs」という言葉ははっきりと表されておらず、SDGsの関連がわかりにくい部分があるのは確かである。 次期計画においては、もう少しわかりやすく関連付けられるように整理していきたい。
5	山・川・里(まち)・海という表現を用いているが、この表現に変更した理由を教えてください。また、国の環境白書では森里川海という表現をしている。香川県独自で山・川・里・海で表現する場合は、説明を加えた方がよい。	香川県では、平成25年9月にかがわ「里海」づくりビジョンを策定し、その中でこの表現を使っている。当時、国の第三次生物多様性国家戦略の中で「森里川海」という表現があることは承知していたが、それを香川県に置き換えた場合、イメージがつかみにくいと考えこの言葉とした。「川」は「山」から走っており、「森」はすべて「山」にあるという香川県の地域特性と、「里」も、どちらかといえば「まち」がいい、里と書いて「まち」と読もうということで作った言葉である。
6	太陽光発電の導入が促進されているが、県内のため池は、水辺に生息する野鳥や水生植物等の貴重な生息地でもある。太陽光発電システムの設置にあたっては、関係者の意見を事前に聞くなど慎重に進めるようお願いしたい。	県では、太陽光発電事業が地域と共生した事業となることを目的とした太陽光発電施設の設置等に関するガイドラインを平成31年4月に策定している。地域住民への十分な説明や、周辺環境への配慮が重要であると考えているので、事業認定を行う四国経済産業局と連携して対応したい。

番号	発言要旨	県の考え方・対応等
【各施策について】		
7	<p>「推進」は県が進めていくということ、「促進」は県民や事業者が県の施策に応じて進めていくことだと思う。「森林整備と都市緑化の推進」「都市緑化の推進」等とあるが、県・公共の建物だけで都市緑化することになる。一方「太陽光発電の導入促進」ともある。文言を統一したほうが良いのではないか。</p>	<p>県庁舎の緑化も進めているので「推進」も当たるが、これ以外の民間施設での緑化も「促進」している。「推進」より「促進」が適切である部分があるため、全体的に、再検討していきたい。</p>
8	<p>小項目の評価についてはよくわかったが、中項目、大項目の評価はしないのか。 また、次期計画は、前の計画のうまくいかなかった点の「ここを直していく」というところを反映させないのか。</p>	<p>指標をたくさん集めた指標群で香川県の環境の全てを評価できるのが理想だが、そこまで至っていない。</p>
9	<p>居住放棄地、廃屋については環境基本計画内に含まれるのか。 災害や健康にまで影響する問題だと思う。</p>	<p>直接的には難しいが、空き家や空き地が周辺環境にもたらす悪影響については盛んに言われているところであるので、どのように関連付けていけるか検討していきたい。</p>
10	<p>海底堆積ごみの処理等を積極的に取り組んでいると思うが、これは「廃棄物処理計画」の「廃棄物の適正処理の推進」の「海岸漂着物等の適正処理」の中に含まれているのか。</p>	<p>海ごみについては5年ごとに作っている「海岸漂着物対策等推進計画」に含まれている。 現在、次期計画の素案を作る段階に入っているので、その中で海底堆積ごみについて検討していきたい。</p>
11	<p>指標について。D評価となったものについて「Dとなっているが、本当はきちんとできている」という説明があったが、これは指標の取り方なりカウントの方法が適切ではないのだろうと思う。 次期計画検討の中では、そういうことも踏まえ考えてほしい。</p>	<p>指標の設定について、今後検討していきたい。</p>